

特集:

「公立置賜総合病院の
泌尿器科医療」

医療連携副部長(兼)
泌尿器科科長
槻木真明・・・1

公立置賜総合病院
登録医総会 &
特別講演・・・2～3

医療連携・相談室
からのお知らせ

・・・4

「公立置賜総合病院の泌尿器科医療」

医療連携副部長（兼）泌尿器科科長 槻木 真明

昨年度4月より医療連携部副部長を拝命しております公立置賜総合病院泌尿器科の槻木真明（つきぎまさあき）です。2002年4月からの2年間および2013年4月から現在に至るまで当院に勤務しております。自分の医師のキャリアでもっとも長く勤務させていただいている病院です。昔に比べ医師数も増え、置賜地域を支える中核病院としてますます発展していることを実感しております。泌尿器科も地域の皆様を支えるべく、思いやりをもった医療を心がけております。

泌尿器科の診療内容としましては癌、結石、感染症、排尿障害に加えまして、今年から阿部明彦先生も赴任され女性泌尿器も対応可能となり、診療領域も広がりを見せております。癌領域では新薬の早期の導入を心がけ、腎癌、尿路上皮癌における免疫チェックポイント阻害薬や前立腺癌骨転移巣に対するラジウム233治療も当院で施行できるようになっております。尿路結石領域では、経尿道的結石除去術を盛んに行っております。高齢者の結石嵌頓腎盂腎炎も増加傾向にあります。尿管ステント留置はしたものの、ADLが悪くその後の結石治療まで進めないことも多々あり、我々も悩んでおります。ステント留置の方の発熱などで皆様にもご迷惑をおかけしております。



入院を契機に自宅へ退院できない方も多く、地域連携を通じて病院や施設にお願いさせていただいております。

近年実感しますのは、身寄りのない独居の方が増えてきていることです。介護サービス等を利用しつつ、地域でそのような方を支えていくことが今後ますます重要となり、地域連携の一層の協力体制が必要と実感しております。

今回この場を借りまして、皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き地域連携・協力体制を築き上げていきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

公立置賜総合病院登録医総会

第2回公立置賜総合病院医療連携推進協議会

平成30年10月4日（木）18:30～於：むつみ荘

年1回の登録医総会が開催されました。今年度は初めての試みとしてむつみ荘を会場に充実した総会・懇親会となりました。院内17名・院外29名と例年になく多数の先生方に御参加いただき、ありがとうございました。

右は公立置賜総合病院医師の紹介風景です。会議、講演会、懇親会について簡単に紹介させていただきます。

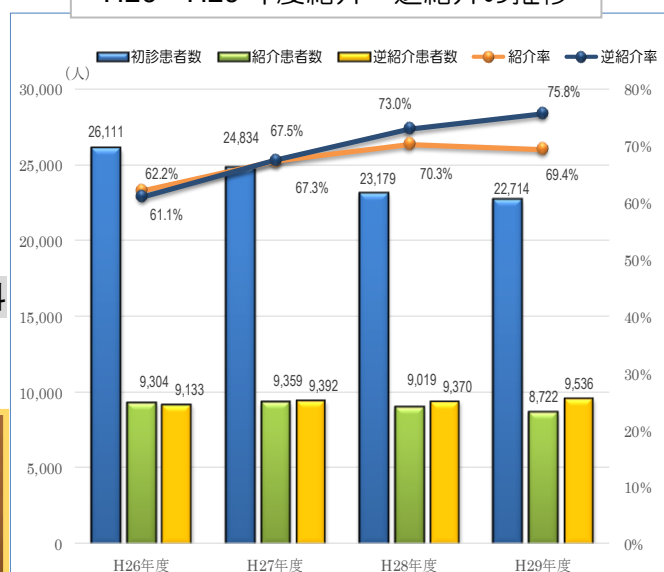


会議「より良い紹介・逆紹介について」



より良い紹介・逆紹介の推進をめざし、意見交換がなされました。

H26～H29 年度紹介・逆紹介の推移



「ネット予約を全科とれるようにしてほしい。」

⇒今後検討してまいります(医療連携室)

「術前の口腔ケアが重要になっているが病院の歯科口腔外科だけでは手一杯となるため地域の歯科医院と連携し口腔ケアを開業医に依頼してほしい。」

⇒地域の先生方の算定も可能なので地域と連携していきたい(口腔外科)

「おきカンファを推進してほしい。」

⇒院内外にPRしていきたい。(医療連携室)

「救命救急へ紹介した際に返事がないこともあり、いただきたい。」

⇒現在紹介状に対する返事が出されない場合、イエローカードとして各先生方に返事の督促を出している。救急では診察した医師と治療を担当した医師が異なる場合があり、返事が出ない場合もあるようです。今後注意していきたい。(医療連携室)

等々

今後もスムーズな、紹介・逆紹介ができるように努力してまいりますので、公立置賜総合病院との連携推進にご協力をよろしくお願い致します。

平成26～29年度の動向（上表参照）として初診患者数の減少がみられる中、紹介率、逆紹介率は上昇。平成29年度で紹介率69.4%、逆紹介率75.8%と伸びており、かかりつけ医からの紹介による受診へと患者意識が定着しつつあります。病院ではかかりつけ医を持つことを推奨しておりますので、ご紹介をよろしくお願い致します。

特別講演

演題 『認知症について』

認知症患者の動向、病態はじめ、認知症と物忘れやせん妄との違いをお話した。また高齢者発症てんかんと認知症の関係について、てんかんの原因として脳血管障害が多いが、アルツハイマー型認知症もてんかんと併発しやすい。60歳を越えると発症率が急上昇することを認識し診療に携わることが必要です。2017年に75歳以上の高齢者における運転免許制度改正がなされたが、自主返納する人も少なくなかったそうです。身体合併の認知症も多いことから、ご紹介いただき連携を図って参りたいと思います。

精神科医長

(兼) 医療連携副部長

鈴木春芳先生



懇親会風景

登録医総会後、同会場で懇親会を行いました。
日々、置賜地域の医療に携わっておられる登録医の先生方に、感謝の意を表すとともに更なる連携を図ることを目的とした会です。

院内外の先生方が多く参加していただけるようにと今回企画しました。短い時間ながらも交流を深められ、大いに盛り上がりました。
顔の見える関係づくりが進み、また明日からの診療につながることを期待します。



公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL :
0238-46-5000

予約センターTEL :
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

医療連携・相談室からのお知らせ

● お薬手帳の持参のお願い

お薬の安全管理のため、かかりつけ医からのご紹介の際は、
必ずお薬手帳の持参を患者さんへ呼びかけていただきますよう
お願いいたします。なお、予約日のご案内にも
お薬手帳は持参品としてあげさせていただいております。



● 非紹介患者初診加算料の引き上げ

10月1日より非紹介患者初診加算料が5,000円に改定されました。厚生労働省令の改正に基づく引き上げとなります。患者さんの負担軽減のためにも、ご紹介の推進にご協力をお願いいたします。

● おきたま病院まつり 2018 & 救急フォーラム置賜 2018のご案内

10月20日(土) 13:00~16:30 公立置賜総合病院で開催いたします。例年通り各種イベント、健康測定、働くクルマなど家族皆さんで楽しめるイベントがたくさんありますので、お気軽にご参加ください。

● 市民公開講座

10月20日(土) 13:30~15:00 公立置賜総合病院大研修室にて「明日の医療を考える市民公開講座」を開催いたします。今年は青森県八戸市立市民病院 病院長 今 明秀氏をお迎えし、「**劇的救命**」の演題で救急医療について講演していただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

※ おきたま病院まつりと同時開催となります。



あとかき

秋、実りの季節・・・リンゴを頬張りながら「今年の自分の実りは何かな」と一瞬頭をよぎるけれど、リンゴの美味しさに押しやられ、疑問もどこへやら。

地震、台風、水害など多くの自然災害がありましたが、被災者のインタビューで「悩んでいる暇などない。悩んでいる暇があったら、1歩でも前に進まない」と話されたことが印象的でした。何気ない普通の日々が尊いですね。1日も早い復興を陰ながら祈ります。